

# 各常任委員会の 主な質疑から

## 総合企画水道常任委員会

**問** 安全でおいしい水の供給を確保するために、県水道局では、小規模貯水槽水道に関して、どのような施策を行っているのか。

**答** 平成十五年四月から、利用者の希望による水質検査を実施するとともに、設置者に対しては、貯水槽の清掃を行うなどの適正な管理に努めるよう指導している。  
今後は、すべての設置者に対して、管理状況の調査を行いその実態を把握するとともに、「(仮称)千葉県水道局中長期経営計画」の期間内に、より一層の適正管理の啓発や、巡回による指導を行っていきたい。

## 総務常任委員会

**問** 県の事務手続きにおけるオンライン化の今後の計画はどうか。

また、オンライン化は事務事業の簡素化・経費の削減等につながるのか。

**答** 平成十八年三月で六十九手続きをオンライン化し、今後の計画では、県の事務手続き三千五百二十五手続きのうち、オンライン化に適さないものを除く三百五十五手続きを、平成二十年度までに整備する方針で準備している。  
また、事務の簡素化については、手続きを電子化するに当たり、事務の簡素化、様式の簡略化などを進めることにより、事務の効率化等が進むと考えている。経費の削減についても、寄与するものと考えている。

## 健康福祉常任委員会

**問** 平成十七年度から導入される国民健康保険の特別調整交付金について、各市町村に対してどのように配分するか、また、その基準・内容についてどう検討しているのか。

**答** 国の調整交付金が、今年度減額されることを考慮して、国分と県分をあわせた市町村への交付金が、前年度と比べて減額とならないように配慮していきたい。

## 商工労働企業常任委員会

**問** 工場緑地の規制緩和については、緑化協定と調和させながら進めているのか。

**答** 経済と環境の両立を図るため、緑地保全を後退させることのないような新たな仕組みについても検討し、緑化協定制度との整合を図りながら進めている。

## 環境生活警察常任委員会

**問** JFEスチールなどの公害防止協定違反を受けて、県は、すべての協定締結工場に対して「特別立入調査」を実施している旨、九月の常任委員会でも報告があったが、調査の結果はどうだったのか。

**答** 環境管理部門の組織体制・チェック機能や分析データの取り扱い方の適否などの確認を行った結果、既に協定違反が判明しているJFEスチールをはじめとする四社以外に、測定回数を偽ったり、測定値を書きかえていた工場はなかった。

## 農林水産常任委員会

**問** 燃油高騰に伴う農業及び漁業者に対する金融支援で、一経営体当たり三百万円を貸付限度として、県が利子補給をするとのことだが、どの程度の融資額を見込んでいるのか。

**答** 融資額は、農業で五千万円、漁業が三千万円、合計八千万円を見込んでいる。  
融資利率は、現在、基準金利が二・九五%であり、利子補給率が一・二五%、末端金利で一・七%である。

## 県土整備常任委員会

**問** 構造計算書偽造事件によって、県としての明確な対応を県民から問われると思うが、今後の対応はどのように進めていくのか。

**答** 県として、より厳正な確認事業に努めるとともに、特定行政庁である各市に対して、周知徹底を図っていく。  
また、民間の指定確認検査機関に対する立入調査を適宜実施し、適正な確認業務の指導に努めていく。  
そして、国に対しても関係都県と連携して、再発防止に有効な法制度の見直しについて、働きかけていきたい。

## 文教常任委員会

**問** 広島県と栃木県で小学一年生が下校途中に事件に巻き込まれ被害されたが、本県では、登下校時の安全対策について、どのように取り組んでいくのか。

**答** 今回の事件を受けて、通路の注意箇所の再点検、交番や「子ども一〇番の家」の場所の周知と万一の場合の対処方法などを重点項目として指導した。  
今後は、警察等の協力を得て、子どもたちが犯罪の被害者とならないために、危険予測、回避能力を身につけさせる安全教育に力を入れること、各学校で、安全マップの作成及び通学路の定期的な点検を実施すること、保護者・地域住民及び警察等との一層の連携を図り、地域ぐるみの取り組みを強化することなどにこれらまで以上に取り組んでいきたい。  
また、十二月二十日に、教育関係者、保護者の代表、スクールガードリーダーなどを招集し「児童生徒の登下校時における安全対策会議」を開催し、今後の取り組みの確認や意見交換等を行うことになっている。

## 「予算委員会」を設置

12月16日の議会運営委員会において、平成18年度当初予算及びこれに係る議案の審査の一層の充実を図り、これらの議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会を設置しました。

- 【委員長】** 本間 進 (自民党)
- 【副委員長】** 穴倉 登・阿部 紘一 (自民党)
- 【委員】** 篠田 哲彦・斎藤 万祐・八代 俊彦・岡村 泰明  
遠藤 澄夫・伊藤 丈・大塚 堯玄・佐藤 正己  
田口 賢・木名瀬 捷司・山中 操・信田 光保  
臼井 正一・渡辺 芳邦 (自民党)  
河野 俊紀・宮 寛・花崎 広毅 (民主党)  
小橋 迪夫・藤井 弘之 (公明党)  
丸山 慎一 (共産党)  
加藤 マリ子 (社民・県民連合)  
大野 博美 (ネット・無所属)  
森田 三郎 (水と緑の会)

## 可決された意見書

- ▷ 児童扶養手当の減額に関する意見書
- ▷ 改造エアガン対策の強化を求める意見書
- ▷ 構造計算書偽造問題に関する意見書
- ▷ 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書
- ▷ 三位一体の改革に関する意見書
- ▷ 「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書
- ▷ 道路財源の確保を求める意見書
- ▷ 真の男女共同参画社会の実現を求める意見書

## 採択された請願

- ▷ 児童扶養手当の見直しによる受給5年後の減額率を緩和することを求める意見書の提出について